



# SUPERBIKE RACE in KYUSHU

AII JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

2023 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第6戦

- 大分県
- オートポリス
- 1周 = 4.674km
- クラス / JSB1000
- マシン / BMW M1000RR
- タイヤ / BRIDGESTONE

## JSB1000 #9 関口 太郎

RACE 1	9月2日(土) 天候: 晴れ コース: ドライ 予選 13番手 (タイム: 1分50秒 116) 決勝 13位
RACE 2	9月3日(日) 天候: 晴れ コース: ドライ 予選 13番手 (タイム: 1分50秒 332) 決勝 11位

観客動員数 : 6,800人 (2日間合計)



府中不動産

岡崎機工株式会社



Burgundy  
Auto Paint & Bodywork Specialist

YONE MOTORS  
<https://www.yonemotors.jp>



BRIDGESTONE

SUPER NOW

J-TRIP S&E PRECISION RACING MAX

BEEPRESSO

alpinestars

カワサキ

HYOD

Motorcycle CS2

DARI

2輪専門

LINTEC

SOG

バイク館

CI DESIGN

ADVANTAGE

SHORAI

RK

NGK

P.O.

INOMATA  
SOFT & SOUGH

Arai  
HELMET

WIND JAMMERS

PLUS μ

TCM

MDF  
TOP SPECIAL GRAPHIC PRODUCTS

RS

elf

ARAI

FIXFIT

Team  
PLUS ONE



全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦が大分県・オートポリスで開催された。前戦もてぎ2&4レースを終え、すぐにチームはオートポリスに向かい事前公開テストをこなし、レースウイークに突入するという鈴鹿8耐から続くハードスケジュール。閑口は、体調管理に気を使いながら、初日の走行を迎えていた。



公式予選は、30分1セッションで行われた。ぶっつけで去年のセットで走り始めると、まずまずのフィーリングで1分50秒116をマークし自己ベストを更新。セカンドベストは1分50秒332となり、両レースとも13番手グリッドからスタートすることになっていた。予選ではメインカーも走らせてみたが、今ひとつの状態のためTカーでレース1に臨むことにした。

ジションを上げ11番手を走行。9周目の3コーナーから4コーナーへの切り返しで秋吉選手をかわして10番手に浮上し、背後から児玉選手が近づいてきていた。何とか抑え切りたいところだったが最終ラップに入るホームストレートでかわされてしまう。悔しいレース展開となつたが11位でゴールし、しっかり両レースで貴重なポイントを積み重ねた。



## チーム力でリカバーし両レースでポイントを獲得

事前公開テストでは、マシントラブルが発生してしまい、思うように走れないまま終えることになっていたため、金曜日は、少しでも多く走りたいところだったが、またもメインカーの調子が悪く、今回はTカーをメインカーのセットに近づけていく作業に追われることになる。2本目の走行は、雨が降ってきてしまい、ほぼ走ることができなかつことも痛かったが、ここは、閑口の判断で去年と同じセッティング、タイヤでいくことを決断していた。



15周で争われたレース1。好スタートを見せた閑口は、一つポジションを上げ12番手でオープニングラップを終え2周目に入っていく。さらに前を追うが、第2ヘアピンのブレーキングでニュートラルに入ってしまいコースアウト。転倒は免れたものの最後尾までポジションを落としてしまう。そこから追い上げを開始。3周目、5周目に、それぞれ1台を、6周目、7周目には、それぞれ2台ずつかわし15番手とポイント圏内に浮上。さらに12周目に2つポジションを上げ13位でチェックカーフラッグを受けた。

レース2が行われる日曜日は気温が上がる予報となっており、レース1でのデータをもとに足回りをアジャスト。朝のウォームアップ走行で確認するとフィーリングもよく、後はレースを迎えるだけだった。

日曜日は朝から快晴となり強い日差しがアスファルトを照りつけたため路面温度は真夏なみに上がった。このコンディションにも閑口のBMW M1000RRは、うまく対応。スタートを決めると、3位争いの集団についていくことができていた。3周目に前で転倒したライダーがいたため、一つポ

事前テストからマシントラブルが続き、なかなか思うように走れませんでしたが、土曜日の公式予選から普通に走り始めたことを考えれば上出来だったと思います。チームのみんなも頑張ってくれたので2レースともポイントを獲ることができました。次戦の岡山は、事前テストから、しっかりと走って、マシンをいい状態にしてレースウイークを迎えるように準備していくきます。今回もメインスポンサーの三明電気工業様を始め、現地まで応援に駆けつけてくださった皆様、スポンサー、ファンの皆様に感謝いたします。

閑口 太郎

